

8月第1回例会プログラム

R3.8.2 (月) 12:30～ 於：京成ホテル 4F 例会場

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング斉唱
4. ビジターゲスト紹介
5. 会長の時間
6. さくら奨学金授与
7. 委員会報告
阿部委員長、高野委員長、平山委員長
鈴木委員長、小林寛之委員長、高槻委員長
8. 幹事報告
9. イニシエーション・スピーチ 藤崎敦会員
10. 閉会点鐘

※例会にはマスク着用のご協力をお願いします。

※欠席、メイクアップのご連絡は出席委員会(小林賢会員)までご連絡ください。

※次週の食事のメニューを受付でご案内します。会場にてお食事をご希望の方は、例会終了時までにご予約ください。

※ZOOMは例会開始10分前より接続可能です。ミーティングIDは“5420633206”です。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1: 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2: 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする。

第3: ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4: 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

今後の予定

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間

8月7日(土) 奉仕活動の日 小吹ブランドスイカ収穫体験

8月9日(月・祝) 振替休日(山の日)

8月16日(月) 休会(定款第7条第1節)

8月23日(月) クラブ協議会

8月28日(土) 奉仕活動の日 水戸さくらRC杯卓球大会

8月30日(月) 昼の例会 ガバナー補佐事前訪問

9月 基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間

9月6日(月) ガバナー公式訪問

イニシエーション・スピーチ 萩谷慎一会員



コロナ禍を乗り越え、あこがれのまちを創ろう！

水戸市議会議員 萩谷 慎一 (2021.7.26)

【自己紹介】

- ・水戸で生まれ・育ち・働き・暮らす 58年の人生(「新人類」と言われた世代)
- ・地元の茨城大学で地域社会論を専攻後、1985年水戸市役所に就職(佐川一信市長の第1期生)
- ・主に、教育委員会、企画課、都市計画課、商工課などで勤務(景観計画、弘道館・偕楽園の世界遺産登録推進、水戸城大手門・二の丸角櫓の復元等の歴史まちづくり計画、水戸まちなかフェスティバルやリノベーションまちづくりを通じた中心市街地の活性化などを担当)

・2019年4月、水戸市議会選挙にチャレンジし4位で当選（新人トップ）

市の職員時代に担当した「水戸まちなかフェスティバル」の例をあげ、一日限りのイベントであるものの、その日だけ中心市街地に魅力ある「プレイヤー」と「コンテンツ」がそろい、10万人の人出を呼び込むことが出来た。つまり、中心市街地に魅力ある「プレイヤー」と「コンテンツ」が戻ってくるための戦略を打っていけば、再生させることが出来るのではないかな。

中心市街地の活性化とは、経済活性化に他ならない。

単に人通りを増やしたり空き店舗を埋めることが目的ではなく、事業者の方々がビジネスで稼げるようになって、最終的に市の税収が増えるようにならなければ、真の意味での活性化とは言えない。

補助金をばらまいたり大きな箱モノを作る今のやり方は、民間の活力を削ぎ、市の財政を苦しくするばかりで本末転倒である。

事業者の方々が街の中でビジネスがしやすくなるよう、空き店舗の賃料を下げたり、用途や改装にかかる規制を緩和する。道路や広場などの公共空間を活用しやすく誘導を図りながら、民間主導の公民連携でやっていくことが重要である。

【コロナ禍で明らかになってきたこと】

・コロナ対策は、住んでいる自治体によって取組に違いが出ており、自治体の対応力いかんで、住民の受けられる行政サービスに大きな差が出ている。

・ITが使いこなせる人とそうでない人との格差が、より大きくなった。

・地域経済は、人と人とが接触することで成り立っている仕事が多く、デジタル化への対応がなかなか難しい。

・しかし、人やモノを大きく移動させなくても働き暮らしていけることや、近くのみんなで融通し合えば生きていけることがわかってきた。

・過密な都会に住むよりも、分散型で循環型、人びとを包みこみ互いに助けあう地域社会をつくり直していけば良いのではないかな。

【これまでの市議会での発言】

・公約である「民間主導の公民連携による地域経済の活性化」「新市民会館の計画見直しによる中心市街地の活性化」「老朽化して危険性が高い東海第二原発の廃炉」に向けた提言を続けてきた。

・あわせて、市民の皆さんからたくさんのご意見ご要望をいただいた「新型コロナへの対応」「歴史を活かしたまちづくり」「安心して暮らせる地域コミュニティ」などの発言を行ってきた。

・この6月からは、文教福祉委員会に所属し、教育と福祉の分野にも活動の幅を広げていく。

【市議会における活動】

・市議会の定例会は、年4回（3月、6月、9月、12月）開催される。議案の審査の他、一般質問や反対討論を行ってきた。

・常任委員会は、議会のない月は毎月10日と議会の前月下旬に開催される。任期は2年で、5月までは「建設企業委員会」で副委員長を務め、6月からは「文教福祉委員会」に所属する。

・7つの特別委員会に所属し、事案が起こるごとに審議を行っている（「新市民会館整備等調査特別委員会」「偕楽園・千波湖周辺整備等調査特別委員会」「新ごみ処理施設整備等調査特別委員会」「水泳競技施設等調査特別委

員会」「行財政改革調査特別委員会」「決算特別委員会」「公営企業会計決算特別委員会」)。

・このほか、市の附属機関の委員を務める(5月まで「水戸観光コンベンション協会理事」、6月から「社会福祉審議会委員」「社会教育委員」「青少年問題協議会委員」)。

【議員としての活動】

- ・議会の前月に、後援会との共催で「タウンミーティング」または「ZOOM ミーティング」を開催し、一般質問の作成にあたっている。
- ・議会の後月に、議会報告「はぎしん通信」を発行し、支援者の皆様のご協力をいただきながら、地域へのお届け活動を行っている。
- ・後援会の各種活動への参加(研修会、ミニ座談会、懇親会など)
- ・随時、市政に関するご意見ご要望をお聴かせいただき、課題の解決に当たっている。

【市民プロジェクトへの参画】

- ・テーマごとにゲストを招きお話を伺う「トークと対話の会」を開催(これまで、環境教育の実践者の森良さん、いばらき原発県民投票の会の鶴沢恵一さんを招く)。
- ・「笠原不動尊再建の会」の活動
- ・「トランジションタウン水戸」の活動

【私の考える水戸市のビジョン】

◎さあ一緒にあこがれのまち「水戸」を創ろう！

- ・子ども達や若者にとっては、自分の夢を叶えるため、チャレンジや自己実現ができるまち「水戸」
- ・子育て世代にとっては、明るく幸せな家庭を築き、持っている力を存分に発揮できるまち「水戸」
- ・高齢者にとっては、健康と安心・安全が保障され、生き甲斐のある老後を満喫できるまち「水戸」

【これからの活動】

- ・市議会議員選挙の投票率は、毎回下がってきており、前回は45.1%となっている。これまでのような「議員のための政治」「選挙のための政治」をやっていたのでは、多くの市民の皆さんからの共感は得られない。
- ・今後は、市民の意見や要望を単に市につなぐだけでなく、市民の力を結集して、水戸のまちを元気にしていくための取組へとシフトさせていきたい。

・すなわち、市役所や議員に「お任せする政治」から、市民が自ら「参加する政治」への転換を図っていく。

◎市民の皆さんとチームを作り、地域の課題を把握しながらその解決策を考え、一緒に「市民マニフェスト」を策定し、議会を通して市に提言したり、世論を動かすため情報発信をしながら、その実現を目指す。(来年の夏、政策提言コンテスト「マニフェスト大賞」への応募を目指す)

会長の時間

東京オリンピックが始まりました。水泳の大橋選手が今大会初めての金メダルを獲ってくれたことが嬉しかったです。東京オリンピックで女性選手が多くメダルを獲ることを願っています。今大会から新しい競技が入ってきて時代が変わってきたと感じています。特にスケートボードには13歳の子が出場していることに驚いています。また、解説者の解説もいままでには考えられない言葉使いをしていたので、こうして時代が変わってきて価値観がスポーツ界においても変化していると感じました。ロータリークラブにおいても若い世代が入ってくることに準備していかなければならないと思います。

幹事報告



令和3年7月21日の茨城新聞朝刊に掲載されました。

ニコニコ BOX 報告

氏名	内容
大澤 一茂	萩谷会員の卓話を楽しみにしております。
岡田 晃	本日は萩谷会員の卓話を楽しみにしております。この場の緊張感を楽しんで下さい。
萩谷 慎一	栄えある水戸さくらRCの一員に加えて頂き、本当にありがとうございます。微力ですが、会の発展に貢献できるよう努力いたします。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。
藤崎 敦	萩谷さん、卓話楽しみにしてます。
鈴木 正人	萩谷会員、本日の卓話頑張ってください。
小林 一裕	萩谷会員、卓話楽しみにしてます。
小林 寛之	萩谷会員のインシエーション・スピーチを楽しみにしております。
小林 新	萩谷会員のインシエーション・スピーチ、楽しみにしております。
小林 賢	萩谷会員インシエーション・スピーチ楽しみにしております。水戸さくら RC から供に水戸の発展の為、頑張っていきたいと思います。
平山 哲也	当社の野球部「東部ライオンズ」が茨城県代表として9月25日から千葉県流山市の関東大会に出場します。全国大会まで繋がる大会ですので上位目指して頑張ります。

集 計

7月26日	10件	合計 26,000円	累計 124,000円
-------	-----	------------	-------------

例会出席状況報告

■7月第4回(7月26日)例会出席報告

在籍	計算会員数	出席 A	訂正前出席率	メイクアップ数 B	A+B	訂正出席率%
24名	23名	20名	86.96%	一名	20名	86.96%

■当日欠席者(敬称略)

根本佳典、大根田ケイ、島村 宏【出席免除】青木 進

■7月第3回(7月19日)例会訂正出席報告

在籍	計算会員数	出席 A	訂正前出席率	メイクアップ数 B	A+B	訂正出席率%
24名	23名	19名	82.61%	一名	19名	82.61%

■当日欠席者(敬称略)

根本佳典、藤崎 敦、和田公一郎、島村 宏【出席免除】青木 進

1991年10月28日創立、1991年11月13日認証

■ 会長 大澤 一茂 幹事 岡田 晃

■ 事務所

〒310-0021 水戸市南町2丁目5-5 常陽銀行本店内

TEL 029(231)2151、直通 029(225)4820、FAX(225)4825

会報・雑誌委員長 平山 哲也[TEL 029-309-7701]

■ 例会日 毎週月曜日 12時30分

(但し毎月末月曜日は18時30分より)

会場 水戸市三の丸1-4-73

水戸京成ホテル

TEL 029(226)3111(代)

2021年7月12日理事会決議報告

水戸さくら RC 幹事 岡田晃

1. 青木進会員、井小萩誠一会員をロータリークラブ定款第10条、第5節出席規定の免除（b）により出席免除を承認いたしました。
2. 2021-2022年度予算が承認されました。（水戸さくらロータリークラブ週報 No.3 参照）
3. 2021-2022年度委員会構成が承認されました。（水戸さくらロータリークラブ週報 No.3 参照）
4. 2021-2022年度クラブ年間スケジュールが承認されました。（水戸さくらロータリークラブ週報 No.3 参照）
5. 水戸市内 6 ロータリークラブ合同例会実行委員長に阿部克己会員が承認されました。
6. ロータリー奉仕デー、ロータリー地球環境保全プロジェクトは全員参加とする。
7. 理事会開催後の例会にて各委員長が委員会報告することになりました。
8. 8月9日（月・祝）が休会、8月7日（土）に移動例会となります。（クラブ年間スケジュール参照）

「委員会からのお知らせ」

- ① プロジェクト委員会 脱炭素チャレンジカップ 2022 協賛
- ② ニコニコボックス委員会

記入用紙を事前に配布いたしますので可能な会員は例会に参加する前に記入してきてください。

2021年7月28日理事会決議報告

水戸さくら RC 幹事 岡田 晃

1. 8月7日を移動例会ではなく、委員会活動とすることが承認されました。
2. 理事会を第1例会の前週水曜日19時から開催することが承認されました。
3. ガバナー公式訪問は9月6日とし、入会3年内の会員は必ず出席すること
4. 水戸市内6RC合同例会準備委員会の阿部克己委員長は、早急に委員会を発足すること。
なお、予算は0円になりました。
5. ロータリー奉仕デーの駐車場管理に小林一裕会員と藤崎会員が選ばれました。
6. 島村宏会員をロータリークラブ定款第10条、第5節出席規定の免除(b)により出席免除を承認いたしました。
7. 緑岡中学校に水飲み場の贈呈計画を推進します。